科目名: 成人看護学実習 Ⅰ	必修	2単位(90時間)
(Adult Nursing Practice Ⅰ)		

履修年次/時期: 2年次 後期　　授業形態: 実習

主担当教員: 棚橋泰之

主担当教員詳細: 実務経験 看護師13年:実務・教育経験を活かし、対象のヘルスプロモーションについて考えられるよう指導する

担当教員名: 石川 智子, 石井一義, 久世美帆

学修目的	成人・老年期にある人々の健康に対する意識や健康の捉え方、健康管理の実際を知る。さらに、個々の健康の保持・増進のために必要な支援のあり方について学ぶ。また、施設や地域で展開しているヘルスプロモーション活動について理解する。 関連するCP: CP1,CP3,CP4,CP5,CP6　　科目No. KNp-226		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	◎
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 病院におけるヘルスプロモーション関連部署の機能と具体的な取り組みについて説明できる。 ② 多様な健康状態にある人々の健康に対する意識や健康管理について述べることができる。 ③ その人らしく生活するために必要な支援について自身の意見を述べることができる。 ④ 地域で生活する人々の健康状態と生活状態の特徴を述べることができる。 ⑤ 実習を通して学んだことを発表し、ヘルスプロモーション活動についての学びを述べることができる。 ⑥ 看護学生としての倫理観をもって、主体的に実習に取り組むことができる。 ⑦ 実習施設におけるヘルスプロモーション関連部署の機能や役割を理解できる。		
授業概要	自らの健康をコントロール、改善しながら生活する成人・老年期にある対象を通し、ヘルスプロモーション活動の実際を学ぶ。		
授業計画	(実習場所) 横須賀共済病院、横須賀市立市民病院 (実習方法) 見学実習を通しヘルスプロモーション活動の実際を学ぶ。また、インタビューを通して人々の健康に対する意識や健康のとらえ方、健康管理の実際を知る。また、ヘルスプロモーションを支援する活動の意義を看護の視点で考える。詳細は成人看護学実習Ⅰ要項を参照。 (実習期間) 2027年2月1日～2027年2月12日		
評価方法	ルーブリックに基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 実習に関するフィードバックは実習の評価面談時に伝える。		
教科書	授業で使用した教科書と授業ノート		
参考書	必要時、紹介します。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之:3号館12階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		